

軽井沢町長メッセージ

～ G7 長野県軽井沢外務大臣会合開催にあたって ～

このたびの G7 長野県軽井沢外務大臣会合の開催を、軽井沢町民を代表してこころより歓迎いたします。

ロシアのウクライナ侵攻に始まる世界平和の危機に際し、この軽井沢町で G7 各国の外相が集まり、平和秩序維持や気候変動問題等の世界的課題の議論を重ねられることは非常に意義深いものと思います。

ここ軽井沢町は、明治時代から異文化を受け入れ協働して来た長い歴史があります。中でも、第二次世界大戦中、2,000 名を超える外国人が当町に疎開し、その食糧不足を町民が協力して改善した経緯があり、監視が厳しい戦時下であっても平和活動が行われていた場所です。

また、戦後になって特別法により国際親善文化観光都市に指定されましたが、この法律は当町が世界において稀にみる高原美を有しすぐれた保健地であり、国際親善に貢献した歴史的実績を有するため、国際親善と国際文化の交流を盛んにして、世界恒久平和の理想の達成に資することなどを目的としています。現状の世界情勢の中で G7 外相が平和維持や、気候変動問題解決のために自然環境問題等について話し合いをおこなう最適な場所と考えております。

世界平和を願う軽井沢町民を代表して、G7 外相会合を機会に、世界が平和秩序の回復と維持に向けた、新たな一步を踏み出すことを切に願っています。

2023 年 4 月 16 日

軽井沢町長 土屋三千夫



国指定重要文化財 旧三笠ホテル



町指定文化財 深山荘 (旧スイス公使館)

第二次世界大戦中、旧三笠ホテルは日本国外務省出張所、深山荘は旧スイス公使館として、それぞれ使用されました。